

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 泰博
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土谷 稔 (TEL) 048-845-2200
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,176	11.7	61	1,685.9	63	902.4	43	2,138.5
2019年3月期第1四半期	1,948	0.7	3	—	6	—	1	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 31百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △3百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	29.66	—
2019年3月期第1四半期	1.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,058	4,598	65.1
2019年3月期	7,478	4,729	63.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 4,598百万円 2019年3月期 4,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	110.00	110.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,650	△7.4	618	△20.1	618	△21.2	438	△14.4	296.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	1,480,000株	2019年3月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	287株	2019年3月期	287株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	1,479,713株	2019年3月期1Q	1,479,713株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用情勢の改善により緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、海外では米中の貿易摩擦の拡大や中国経済の減速など世界経済の不確実性が懸念され、不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、企業収益が改善するなか、企業における効率化や生産性向上を目的とした投資意欲の高まり等により、ソフトウェア投資は堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは20中期経営計画(2018年度～2020年度)の基本方針に従って、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、機器等販売、ソフトウェア開発、システム運用・管理等のセグメントで増加し、2,176百万円(前年同期比11.7%増)となりました。損益につきましては売上高の増加等により、営業利益61百万円(同1,685.9%増)、経常利益63百万円(同902.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益43百万円(同2,138.5%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①機器等販売

売上高は機器販売やパッケージソフトが納期の前倒し等で増加となり、657百万円(前年同期比60.5%増)となりました。セグメント損益は売上高の増加により、49百万円の利益(同652.0%増)となりました。

②ソフトウェア開発

売上高は開発案件の増加により、216百万円(前年同期比30.9%増)となりました。セグメント損益は売上原価の増加により、14百万円の利益(同22.8%減)となりました。

③システム販売

売上高は生コン関連機器が納期の前倒し等により増加しましたが、画像処理システムで当第2四半期以降へのずれ込み等があり、487百万円(前年同期比19.8%減)となりました。セグメント損益は売上高の減少により、31百万円の利益(同62.3%減)となりました。

④システム運用・管理等

売上高はシステム運用支援やデータセンタ業務等の増加により、816百万円(前年同期比6.4%増)となりました。セグメント損益は売上高の増加により、236百万円の利益(同14.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.6%減少し、4,453百万円となりました。これは、主に現金及び預金が467百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,081百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、2,605百万円となりました。これは、主に投資その他の資産その他に含まれている投資有価証券が20百万円、無形固定資産に含まれているソフトウェアが18百万円減少したものの、無形固定資産に含まれている賃貸資産が44百万円、有形固定資産その他に含まれているリース資産が21百万円、有形固定資産その他に含まれている賃貸資産が21百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.6%減少し、7,058百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13.1%減少し、2,059百万円となりました。これは、主に未払費用が388百万円増加したものの、買掛金が270百万円、賞与引当金が228百万円、未払法人税等が173百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.5%増加し、400百万円となりました。これは、主にその他に含まれている長期前受収益が10百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10.5%減少し、2,460百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.8%減少し、4,598百万円となりました。これは、主に株主配当金の支払が162百万円あったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、2019年5月13日に公表した予想に変更はありません。

当連結会計年度(2020年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高9,650百万円、営業利益618百万円、経常利益618百万円、親会社株主に帰属する当期純利益438百万円を見込んでおります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により、予想値と異なる場合があります。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,542,665	2,009,990
受取手形及び売掛金	2,400,244	1,318,277
リース投資資産	381,069	406,990
商品及び製品	66,126	64,778
仕掛品	408,248	517,543
原材料及び貯蔵品	31,977	33,567
その他	99,733	103,925
貸倒引当金	△2,904	△1,900
流動資産合計	4,927,160	4,453,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	606,141	603,636
土地	531,977	531,977
その他（純額）	427,731	469,169
有形固定資産合計	1,565,851	1,604,784
無形固定資産	333,055	355,740
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	239,402	241,657
その他	418,874	408,619
貸倒引当金	△5,473	△5,473
投資その他の資産合計	652,803	644,804
固定資産合計	2,551,710	2,605,329
資産合計	7,478,870	7,058,502
負債の部		
流動負債		
買掛金	771,103	500,175
未払費用	312,920	701,267
未払法人税等	192,388	18,871
賞与引当金	386,588	158,042
受注損失引当金	-	18,195
アフターコスト引当金	37,865	32,290
その他	669,275	630,883
流動負債合計	2,370,142	2,059,726
固定負債		
退職給付に係る負債	14,361	15,941
その他	365,176	384,510
固定負債合計	379,538	400,452
負債合計	2,749,680	2,460,178

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	3,647,125	3,528,238
自己株式	△462	△462
株主資本合計	4,664,484	4,545,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,954	83,658
退職給付に係る調整累計額	△33,248	△30,932
その他の包括利益累計額合計	64,706	52,726
純資産合計	4,729,190	4,598,324
負債純資産合計	7,478,870	7,058,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,948,666	2,176,668
売上原価	1,480,913	1,667,582
売上総利益	467,753	509,086
販売費及び一般管理費	464,300	447,421
営業利益	3,452	61,665
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	2,325	2,369
受取手数料	1,091	553
その他	982	883
営業外収益合計	4,401	3,809
営業外費用		
支払利息	447	433
売上割引	692	1,387
支払手数料	307	299
その他	97	105
営業外費用合計	1,544	2,225
経常利益	6,309	63,248
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	6,309	63,248
法人税、住民税及び事業税	3,977	21,544
法人税等調整額	371	△2,177
法人税等合計	4,349	19,366
四半期純利益	1,960	43,882
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,960	43,882

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,960	43,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,373	△14,296
退職給付に係る調整額	1,864	2,316
その他の包括利益合計	△5,509	△11,980
四半期包括利益	△3,549	31,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,549	31,901
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	409,554	164,988	606,972	767,150	1,948,666	—	1,948,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	202	10,893	11,095	△11,095	—
計	409,554	164,988	607,174	778,043	1,959,761	△11,095	1,948,666
セグメント利益	6,582	18,614	83,588	207,107	315,893	△312,440	3,452

(注) 1 セグメント利益の調整額△312,440千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	657,246	216,029	487,054	816,337	2,176,668	—	2,176,668
セグメント間の内部売上高 又は振替高	219	—	6,507	10,577	17,304	△17,304	—
計	657,465	216,029	493,562	826,915	2,193,972	△17,304	2,176,668
セグメント利益	49,502	14,375	31,530	236,919	332,328	△270,662	61,665

(注) 1 セグメント利益の調整額△270,662千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。